



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和5年10月18日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
防災課	災害対策係	浅野	内線 2842 直通 058-272-1125 FAX 058-278-2522

令和5年度岐阜県緊急対策チーム図上訓練を実施します

県では、「岐阜県地震防災の日」にあわせ、県災害対策本部に設置される緊急対策チームの災害対応力向上を図るため、下記のとおり図上訓練を実施します。

今年度は、地震の発生に加え、記録的な積雪量を観測しているという複合災害が発生した状況下での災害対策について、関係機関と連携した訓練を実施します。

記

1 日 時 令和5年10月24日(火) 10時30分から15時30分まで

2 場 所 県庁5階 危機管理フロア

3 参加機関等 (29機関、約330名)

県、県警、陸上自衛隊第35普通科連隊、航空自衛隊岐阜基地、自衛隊岐阜地方協力本部、近畿中部防衛局東海防衛支局、海上保安庁第四管区海上保安本部、中部経済産業局、中部運輸局、東海総合通信局、中部地方整備局、岐阜地方气象台、中部電力パワーグリッド株式会社、関西電力送配電株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社ドコモCS東海、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社、東邦ガスネットワーク株式会社、一般社団法人岐阜県LPガス協会、日本赤十字社岐阜県支部、一般社団法人岐阜県透析研究会、北陸電力株式会社、北陸電力送配電株式会社、一般社団法人岐阜県医師会、公益社団法人岐阜県看護協会、一般社団法人岐阜県薬剤師会、福井県

4 訓練内容

(1) 概要

- ・大規模な内陸直下型地震が発生した際の情報収集・伝達、即時救援、広域受援、孤立対策、避難所支援、被災者支援、応援職員派遣、ライフライン復旧対策、広域物資輸送、災害ボランティア受入、災害廃棄物処理等に係る訓練を実施
- ・併せて、記録的な積雪を観測している状況下で地震が発生し、除雪が進んでいない地域での災害対策の遅延、地震動による雪崩の誘発で孤立地域や停電が多発するなど、降雪時の複合災害の状況付与を実施
- ・危機管理フロアに整備された大型モニター等を使用し、被害状況等を画像で共有

(2) 想定地震

高山・大原断層帯による内陸直下地震

※飛騨・中濃圏域で最大震度7、県内の広い範囲で震度5強以上を観測

5 その他

- ・訓練当日、大規模災害が発生した、あるいは発生するおそれのある場合や、県内の気象状況等により訓練を中止することがあります。
- ・円滑な訓練実施のため、別紙のとおり取材エリアを設置しますのでご注意ください。
- ・当日、県政記者クラブ室で広報課より「災害対策用カード」（5階危機管理フロア入室用ICカード）を配布します。西側エレベーターからお越しの上、受付いただくようお願いいたします。なお、訓練の取材が終わった段階でカードを広報課へ返却してください。

【岐阜県地震防災の日とは】

岐阜県では、濃尾地震（1891（明治24）年）の災害経験を風化させないため、濃尾地震が発生した10月28日を「岐阜県地震防災の日」と定め、災害に対する取組みの点検や確認を呼びかけています。

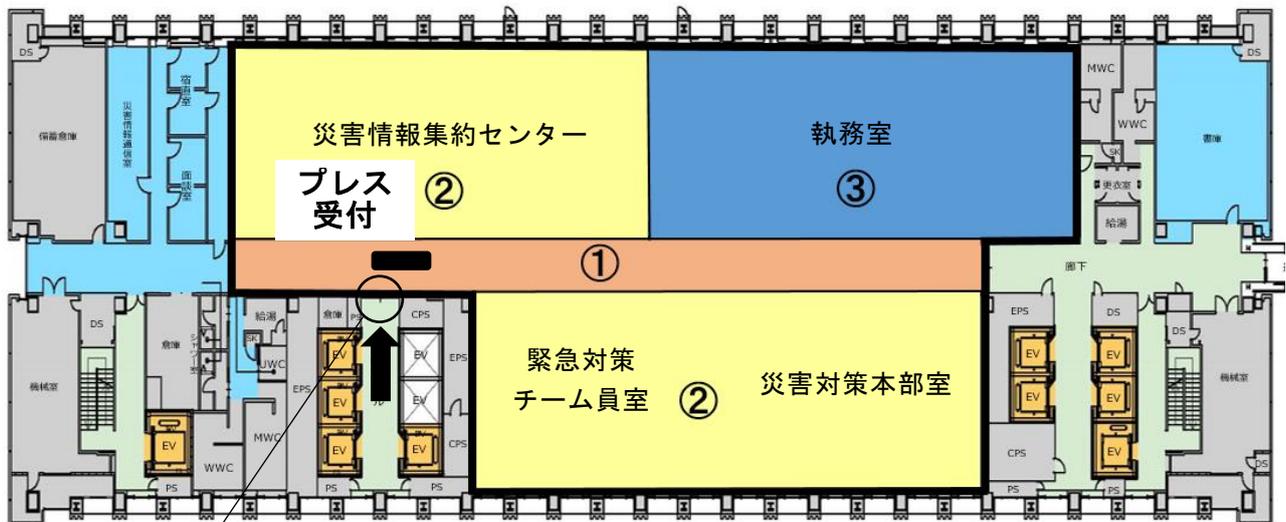
【緊急対策チームとは】

災害時に複数部局にまたがる課題に対し、横断的な調整等を実施するチーム。複数の関係課の職員等で構成されており、今回の訓練には指揮総括、災害情報集約、受援対策、ヘリ統制、医療救護、避難所支援、職員派遣、渉外、食料物資、被災者支援、県民相談、ライフライン・危険度判定、交通対策の計13チームが参加します。

<今回の訓練における取材エリア>

番号	エリア	説明
①	立入可能	制限はありません
②	立入制限	立ち入る際は、事前に担当職員にお声掛けください
③	立入不可	立ち入りはご遠慮ください

行政棟5階 危機管理フロア



西側エレベーター

災害対策用カードをかざして通過